







## 正しく安全に お使いいただくために

弊社製品をお買い上げ頂きまして誠にありがとうございます。

ご使用の前にこのユーザーズマニュアルをよくお読みになり、内容を理解してからお使いください。

表示内容を無視して誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を、次の 表示で区分し説明します。

# <u>入</u>危険

この表示の欄は「死亡または重傷等を負う可能性が想定され、かつ危険発生時の 警告の緊急性が高い」内容です。

# ▲警告

この表示の欄は「死亡または重傷等を負う可能性が想定される」内容です。

# <u>入</u>注意

この表示の欄は「障害を負う可能性または物質的損害のみが発生する可能性が想 定される」内容です。

お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するためにも、次の事柄は必ずお守りください。

i

## 必ずお守りください

危険

HLT-700-02 または光通信ユニット(HIF-51)をご購入の方は、必ずお読みください。



火の中に投入しない! 加熱しない! 絶対にしないでください。発 熱、漏液、破裂、発火の原因に なります。



HLT-700-02 をご購入の方は、必ずお読みください。



光通信ユニット(HIF-51)をご購入の方は、必ずお読みください。



# ▲警告

HLT-700-02 または光通信ユニット (HIF-51) をご購入の方は、必ずお読みください。



内部の点検、調整はお買い上げの販売店にお任せください。ショートや発熱によ り感電や火災を起こす恐れがあります。

HLT-700-02 をご購入の方は、必ずお読みください。



電池が漏液した! 変形した!変色した! 使用を中止してお買い上げの 販売店にご連絡ください。 電池の漏液が肌や服につい た! すぐにきれいな水で十分洗い 流してください。皮膚に障害を 起こす恐れがあります。

# <u>入</u>注意

HLT-700-02 または光通信ユニット (HIF-51) をご購入の方は、必ずお読みください。



HLT-700-02 をご購入の方は、必ずお読みください。

 $\bigcirc$ 

本体は、必ず手に取って操作してください! 床や机に置いたままの状態で、あるいは HIF-51 などに置いたままの操作はしな いでください。機器の故障や誤作動の原因になります。

光通信ユニット(HIF-51)をご購入の方は、必ずお読みください。

正しくご使用ください! HIF-51 に弊社指定外の物を置かないでください。機器の故障や誤作動の原因に なります。



コンピュータや蛍光灯などのノイズを発する機器からは、なるべく離して ご使用ください!

ノイズの影響により、正しく通信できなくなる場合があります。

### 製品保証について

- 1. 製品をご購入頂きましたら保証書にお買い上げ日、御社名、御住所などをご記入 の上、大切に保管してください。
- 製品の無償保証期間はご購入日より1ヶ年、最長で出荷日より1年3ヶ月となり ます。ただし、無償保証期間内でも次のような場合は有償となることがあります ので、ご了承ください。
  - (1) 保証書のご提示がないとき
  - (2) 保証書の所定事項に未記入の箇所がある場合
  - (3) マニュアル等に記載された使用方法および注意事項に反する取り扱いによる障害
  - (4) 故意または重大な過失による障害
  - (5) 使用環境が所定条件から逸脱したことによる障害
  - (6)許可無く、改造または他機器の接続、取り付けを行ったことによる障害
  - (7)災害、地震、水害等の天災地変による障害
  - (8) お客様の作成されたソフトウェアおよびシステムによる障害
  - (9) 使用上避けられない消耗による障害・部品交換(消耗品交換)
- 3. 製品の品質につきましては、十分注意して製造しておりますが、何かお気づきの 点がありましたらご連絡ください。
- 製品の内容は、修正バージョンアップなどにより、予告なく変更することがあります。
- 5. 本製品の運用の結果生じた損失については、全てに関しての責任を負いかねます ので、ご了承ください。



### 目次

製品保証について	 	 	 	 	 			 	 	 								۷
目次	 	 	 	 	 			 	 			•						vi
はじめに	 	 	 	 	 		• • •	 	 	 								іх
同梱品	 	 	 	 	 		• • •	 	 	 								Х
表記上の注意	 	 	 • •	 	 	•	• • •	 	 	 		•		• •				xi
本書の構成	 	 	 	 	 	•	• • •	 	 	 		•	• •	• •	•		 )	(iii

### 第1章 クイックガイド編

1-1 各部の名称	2
1-2 使用前の準備 1-4	ł
1-2-1 データ通信の準備1-4	ŧ
1-2-2 周辺ソフトウェアについて1-{	5
1-3 操作の流れ	3

### 第2章 ハードウェア編

2-1 HLT-700-02の主な機能 2-2
2-2 製品仕様
2-2-1 製品仕様
2-2-2 RS-232C インターフェース 2-4
2-2-3 読取仕様
2-3 バッテリーカートリッジ (HBC-51) について
2-3-1 バッテリーカートリッジの充電2-9
2-3-2 取り付け方
2-3-3 取り外し方
2-3-4 バッテリーカートリッジの消耗と交換2-11
2-3-5 電極の清掃に関する注意2-11
2-4 メモリバックアップ期間 (バックアップ用電池について)2-12
2-4-1 バックアップ用電池の充電2-13
2-4-2 ドライブ§のデータについて2-14
2-5 画面出力キャラクタ 2-15

### 第3章 ソフトウェア編

3-1 HLT-700-02に搭載されているソフトウェアについて	3-2
3-1-1 データの格納場所	3-3
3-1-2 システムメニューについて	3-4
3-1-3 標準アプリケーションについて	3-4

4-1 はじめに
4-2 システムメニュー
4-2-1 システムメニュー一覧4-3
4-2-2 システムメニューの起動4-4
4-2-3 システムメニューの操作4-4
4-3 自動的に起動するプログラムの設定 4-6
4-4 アプリケーションの起動
4-5 ファイルの送受信 4-8
4-5-1 通信前の準備
4-5-2 「Welfer for Windows」の通信設定4-10
4-5-3 HLT-700-02 の通信設定 4-12
4-5-4 ファイルの送信4-14
4-5-5 ファイルの受信
4-6 ファイルの削除
4-7 画面表示に関する設定
4-7-1 画面コントラストの調節
4-7-2 フォントの変更4-19
4-8 各種機能の設定 4-20
4-8-1 時計の設定
4-8-2 プザーおよびバイブレータの設定4-20
4-8-3 ブザー音量の調節
4-9 各種情報の確認 4-22
4-9-1 ファイル情報
4-9-2 ドライブ情報
4-9-3 電池電圧
4-9-4 OS バージョン
4-9-5 時計
4-10 テスト機能について 4-26
4-10-1 ファイルのテスト
4-10-2 シリアル通信のテスト
4-10-3 バーコード読取のテスト
4-10-4 画面表示のテスト
4-10-5 キー入力のテスト
4-11 その他の機能
4-11-1 低電圧警告
4-11-2 オートバワーオフ
4-12 HLT-700-02の初期化 4-31

#### 第5章 FAQ 編

5-1 FAQ(よくある質問と回答)	. 5-2
Q:電源が入らない	5-2
Q:画面に何も表示されない	5-2
Q: しばらく操作を中断したら、電源が OFF になってしまった	5-2
Q:充電できなN	5-2
Q:システムメニューが起動しない	5-3
Q:電源を ON にしたときに起動するアプリケーションを変更したい	5-3
Q:別のアプリケーションを起動するには	5-3
Q:バーコードが上手く読取れない	5-3
Q:ドライブの空き容量を確認するには	5-4
Q:データ通信ができない	5-4
Q:ファイルの送受信中に「キャンセルされました」と表示された	5-4
Q:ファイルの送受信中に「書き込みに失敗しました」と表示された	5-4
Q:ファイルの送受信中に「タイムアウトしました」と表示された	5-5
Q:アプリケーションの起動やファイルの送受信ができない	5-5
Q:ファイルが壊れているようなのですが	5-5
Q:「アプリケーションエラー」と表示され、キーを押したら電源が OFF になった.	5-5
Q:「システムエラー」と表示され、キーを押したら電源が OFF になった	5-6

### 第6章 光通信ユニット(HIF-51)編

6-1 はじめに
6-1-1 各部の名称6-3
6-2 接続 6-5
6-2-1 ホストコンピュータとの接続6-5
6-3 デイジーチェーン接続 6-6
6-3-1 構成例(DIP スイッチの設定)6-7
6-4 インターフェース
RS-232C インターフェース6-9
RS-485 インターフェース6-10
6-4-3 インターフェース仕様6-11

### 付録 サンプルバーコード

付録	サンプルバーコード	 付録-2

灻	2	I
夵	J.	l

### はじめに

この度はHLT-700-02をお買い上げ頂きまして、誠にありがとうございます。 このユーザーズマニュアルはHLT-700-02のハードウェアとシステムプログラムにつ いて説明するものです。

お客様の業務の効率化に HLT-700-02 がお役に立てれば幸いに存じます。

HLT-700-02 のマニュアル構成

HLT-700-02のマニュアルは全部で2冊あります。

HLT-700-02 ハードウェア / システムメニュー (本書)	HLT-700-02 が持つ基本的な機能や、操作 方法についてのマニュアルです。通信を する上で必要な設定や操作、HLT-700-02 の基本的な設定を行うシステムメニュー について説明します。
HLT-700-02 標準アプリケーション	HLT-700-02 に標準搭載されているプログ ラム (標準アプリケーション)について のマニュアルです。各種機能の設定、操 作方法について説明します。ご使用の際 は、お手元に置かれることをおすすめい たします (標準アプリケーションを使用 しない場合は、本書は不要です)。

### 同梱品

HLT-700-02本体·····	•• 1
ストラップ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	•• 1
マニュアル	
ハードウェア / システムメニュー ・・・・・・・・・・・・・・・・・・	•• 1
標準アプリケーション ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	•• 1
保証書 ••••••	•• 1

### 別売り

バッテリーカートリッジ(HBC-51)
 PC 接続用ケーブル(HOP-C031)
 弊社推奨プリンタ接続用ケーブル(HOP-C032)
 充電器(1個口:HQC-51、4個口:HQC-54)
 保護カバー(HDC-51)
 光通信ユニット(HIF-51)
 HIF-51 PC 接続用ケーブル(WRS-AXC003A)
 HIF-51 デイジーチェーン接続用ケーブル(STP-C001A)
 パラメータ設定ソフト Welpack-H
 ファイル転送用プログラム Welfer for Windows

### 表記上の注意

参照。	参照事項を表わします。
	注意事項を表わします。
「HLT-700-02」	バーコードリーダー本体を表わします。
「光通信ユニット (HIF-51)」	HLT-700-02とPCの通信インターフェースです。 別途ご購入ください。
r Welpack-H ر	パラメータ設定用ソフト「Welpack-H」を指します。 別途ご購入ください。
<sup>r</sup> Welfer for Windows J	ファイル転送プログラム「Welfer for Windows」を指します。 別途ご購入ください。
「 標準アプリ ケーション 」	出荷時に HLT-700-02 に搭載され、さまざまな業務への幅広い対応 を可能にするプログラムを指します。
「システム プログラム」	HLT-700-02 に搭載されている、0S を指します。
「システム メニュー」	システムプログラムの機能の一部を指します。
「ドライブS」	データファイル、パラメータファイルなどを格納するための領域を 指します。
「ドライブF」	アプリケーション、データベースマスターファイルなどを格納する ための領域を指します。
「バッテリー カートリッジ」	HBC-51を表わします。 別途ご購入ください。
「読取キー」	バーコードを読取るときに押します。
「テンキー」	◎~⑨、⊙のキーを表わします。
「デイジー チェーン」	光通信ユニット(HIF-51)同士を、専用ケーブルを使用して複数台 接続することを表わします。

### 本書の構成

第1章 クイックガイド編	第
HLT-700-02本体の基本的な取り扱いについて説明します。	1 幸
	부
第2章 ハードウェア編	第
HLT-700-02の仕様や操作方法について説明します。	2
	早
	第
HLT-700-02 に搭載されているソフトウェアについての	3
概要を説明します。	早
	第
システムメニューの設定や操作方法を説明します。	4
	早
	第
よくあるご質問と対処方法を説明します。	5
	早
第6章 光通信ユニット(HIF-51)編	第
光通信ユニット(HIF-51)について説明します。	6
	車



標準アプリケーションについての詳細は、「HLT-700-02 標準アプリ ケーション」ユーザーズマニュアルをご覧ください。



# クイックガイド編

### 1-1 各部の名称



読取口

バーコードを読取るための開口部です。

LCD(液晶表示器)

データや文字を表示します。

読取 LED

バーコードを正しく読取ると緑色に点灯します。

警告 LED

動作中に何らかのエラーが発生した時に赤色に点灯します。

読取キー

バーコードを読取るとき押します。(P.1-6)

ファンクションキー( ⑦ ~ < 1 つ) 機能の切り換えやカーソル操作をします。(P.4-4)

(m) キー(Enter キー)
 入力したデータや操作を確定、実行するときに押します。

⑥ キー(キャンセルキー)
 入力の取消をしたり、画面を元に戻したりします。

テンキー( ② ~ ⑨、 ⊙ ) 数字、小数点を入力します。

PW キー(電源スイッチ)

⑧ キー(バックスペースキー)
 入力した1つ前の字を消します。

③ キー(シフトキー)
 他のキーと一緒に押すことで、特殊な機能を働かせます。

IrDA インターフェース 光通信ユニット (HIF-51) や専用プリンタと IrDA で通信します。 (P.4-8)

RS-232C インターフェース 別売りのケーブルで、専用プリンタまたはコンピュータと接続します。

バッテリーカートリッジロックレバー (P.2-10)

バッテリーカバー(P.2-10) 必ずバッテリーカバーをつけた状態でご使用ください。

バッテリーカートリッジ(別売り)(P.2-9) ご購入直後のバッテリーカートリッジは、必ず充電してからご使用ください。

シリアル番号 バッテリーカートリッジを収納する本体内部には、シリアル番号が記載されてい ます。

ハンドストラップ

### 1-2 使用前の準備

HLT-700-02を使用する前に、次の準備と確認をしてください。

バッテリーカートリッジ - HBC-51 - (別売り)

HLT-700-02の起動に必要です。別途ご購入の上、HLT-700-02 に正しく装着してください。(P.2-9)

読取口は汚れていませんか? 読取口が汚れていると、バーコードを正しく読取ることができません。汚れていた場 合は、柔らかい布などで軽く拭いてください。



HLT-700-02 は、必ず手に取ってご使用ください。床の上などに置いたまま 使用すると、故障の原因になります。 光通信ユニット(HIF-51)に置いたまま使用しないでください。光通信ユ ニットが倒れたり、HLT-700-02 が落下したり、故障の原因になります。

#### 1-2-1 データ通信の準備

HLT-700-02 では、入力したデータをホストコンピュータに送信したり、ホストコン ピュータからデータを受信することができます。

ホストコンピュータとの接続には、次の2つの方法があり、使用環境に応じて必要な 準備を整えてください。

接続方法	必要なもの	参照
ホ ス ト コ ン ピ ュ ー タ の RS232C コネクタと直接接続	PC 接続用ケーブル ( HOP-CO31 ) を別途ご購 入ください。	
ホストコンピュータを光通信 ユニット(HIF-51)に接続して IrDA 通信を使用	光通信ユニット(HIF-51)とHIF-51 PC 接続用ケーブル(WRS-AXC003A)を別途ご購入 ください。 また、光通信ユニットをデイジーチェーン で使用する場合(P.6-6)は、デイジーチェー ン接続用ケーブル(STP-C001A)をご購入く ださい。	P.4-8

### 1-2-2 周辺ソフトウェアについて

ホストコンピュータとのデータ通信や、標準アプリケーションで使用するパラメータ ファイルのカスタマイズには、次のソフトウェアが別途必要です。

プログラム	準備・用途	参照
Welfer for Windows	ホストコンピュータとのデータ送 受信に必要です。別途ご購入くだ さい。 データ通信を行う前に、ホストコ ンピュータ側に、「Welfer for Windows」をインストールしてくだ さい。	P.4-10 または、ソフト ウェア付属のマニュア ルをご覧ください。
Welpack-H	パラメータファイルの受信およ び、標準アプリケーションのカス タマイズの際に必要です。必要に 応じて別途ご購入ください。	詳細は、標準アプリ ケーション ユーザー ズマニュアル、または ソフトウェア付属のへ ルプをご覧ください。

第 1 章

### 1-3 操作の流れ

HLT-700-02の電源を ON にする

出荷時設定では、「標準アプリケーション」が起動すると、「パラメータ選択画面」が表示されます。"標準パラメータ"が選択されているので、 (307)を押すと データ入力待ち状態になります。バーコードの読取りは、「標準アプリケーション」等のアプリケーションが必要です。

> 標準アプリケーション(P.3-4) システムメニューの起動(P.4-4) 自動実行するアプリケーションの設定(P.4-6)

読取キーを押す

読取りを開始します。

標準アプリケ	ーション
(HLT-700-02	標準アプリケーションユーザーズマ
ニュアル)	

バーコードを読取る

読取ったデータはドライブSのファイルに保存されます。

データの格納場所 (P.3-3)

光通信ユニット(HIF-51)とホストコンピュータの接続 光通信ユニットをホストコンピュータに接続して、ファイル送信の準備をします。

> ファイルの送受信(P.4-8) 光通信ユニット(HIF-51)について(P.6-1)

IrDA によるファイル送信の準備

IrDA を使用したファイル送信の準備をします。

ファイルの送受信 (P.4-8)

電源を OFF にする

アジア を押して電源を OFF にします。



第 1 章



# ハードウェア編

#### 第2章 ハードウェア編

### 2-1 HLT-700-02の主な機能

1. IrDA インターフェースを装備

IrDA SIR Ver1.2 準拠。115kbps の高速ファイル転送を実現。 専用プリンタと IrDA で通信することもできます。

- 2. バイブレーター機能を標準搭載 騒音の大きな作業現場でも、確実な読取り確認が可能です。
- 3.大容量バッテリーによる長時間駆動

別売りのバッテリーカートリッジ(HBC-51)を使用することにより、連続約 30 時間の使用が可能です。

4.小型·軽量

本体が、小型かつ軽量のため使用環境を選ばず、手軽に持ち運ぶことができます。

# 2-2 製品仕様

### 2-2-1 製品仕様

	林田 이 나	NW-7、CODE39、JAN-13/8、UPC-A/E、EAN13/8、インダス		
スキャナー部	読取コート	トリアル 2of5、ITF、CODE93、CODE128、EAN128		
	読取桁数	最大 72 桁 ( データ桁 )		
	読取幅	最大 350mm		
	光源	赤色光半導体レーザー		
	MRD	25		
	分解能	0.127mm		
	FROM	2M バイト(内 1.5MB がファイル領域)		
メモリ	CDAM.	2M バイト(内1.5MB がファイル領域、256KB がアプリケー		
	SRAW	ション用ワーク領域)		
妻 국 ↓ E D	読取正読 / エラー	緑/赤/橙		
祝小 LLD	警告	赤		
	STN 液晶フルドットマトリ	ックス(グレーモード)		
		漢字 10桁×5行(12ドットモード)/		
	- - - - - - - - - - - - - -	8 桁 × 4 行(16 ドットモード)		
	120 x 04 1 9 1	ANK 20桁×5行(12ドットモード)/		
LCD 表示部		16 桁×4 行(16 ドットモード)		
	表示面積	43(W) × 31(H) mm		
	表示文字	JIS 第一・第二水準漢字、ANK、記号、外字		
	コントラスト調整	8 段階		
	バックライト	あり(LED)		
ブザー	読取り時、各種エラー時に鳴動			
バイブレータ	読取り時、各種エラー時に振動(ブザーとの連動を選択可能)			
寸法	56.6(W) × 160(D) × 37.9	(H)mm / グリップ部:45 (W) × 26 (H)mm		
重量	約 170g(バッテリーカート <sup>」</sup>	リッジを含む)		
重酒	メインバッテリ	リチウムイオン電池		
电标	バックアップバッテリ	二次リチウム電池(メンテナンスフリー)		
	使用温度	-5 ~ 50		
	使用湿度	20~80%RH(ただし結露無きこと)		
	保存温度	-10 ~ 60		
	保存湿度	10~90%RH(ただし結露無きこと)		
環境	防滴	JIS 型		
	耐落下強度	120cm (コンクリート)		
		人工光 4,800 lx typ.		
	照度条件	(ただしナトリウムランプは除く)		
		太陽光 107,000 lx typ.		
連続使用時間	約 30 時間			
時計機能	年(4桁)月日時分/閏年補正あり			
外部インター	IrDA(IrDA SIR 1.2 Iow Power Ontion 相格准枷)(RS-2320			
フェース	IIUA(IIUA SIK I.2 LOW POWEL UPLION 現俗竿挽)/ KS-2326			

第2章 ハードウェア編

### 2-2-2 RS-232C インターフェース

信号名称およびコネクタピン配列

ピン番号	端子名	方向	説明
2	GND	-	シグナルグランド
3	TxD	出力	送信データ
4	RTS	出力	送信要求
5	RxD	入力	受信データ
6	CTS	入力	送信可
1、7、8	-	-	予約



使用コネクタ: 3260-8S2 ヒロセ製 端子信号レベルは、JISX5101 相当



上記の予約のピンは、システムによってあらかじめ予約されています。独 自のアプリケーション、ケーブル等による使用または接続はしないでくだ さい。

ホストコンピュータと HLT-700-02 を直接接続するには、PC 接続用ケーブル (HOP-C031)を別途ご購入ください。

### 2-2-3 読取仕様

#### レーザー光の照射角度

HLT-700-02のレーザー光の照射角度は55.25°です。



#### 読取深度

バーコードの読取り可能範囲のことを読取深度といいます。HLT-700-02 の読取深度は、次の図のとおりです。

#### スキャン範囲及び分解能深度



#### 第2章 ハードウェア編

#### 読取距離範囲

シンボル種類	(mm)	内容	太細比	最小読取距離(mm)	最大読取距離(mm)
CODE 39	0.127	ABCDEFGH	2.5:1	55.88	127
CODE 39	0.191	ABCDEF	2.5:1	45.72	190.5
CODE 39	0.254	FGH	2.2:1	50.8	246.38
UPC100%	0.330	012345678905	-	50.8	304.8
CODE 39	0.508	123	2.2:1	*	381
CODE 39	1.016	AB	2.2:1	*	558.8
CODE 39	1.397	CD	2.2:1	*	736.6

- 表補足 -

・\*はバーコードの長さにより距離が変わります。

・読取距離は水平設置した状態のシャーシ底面より4.3mmの高さでのレーザー出射口端面からバーコードまでの水平距離です。

・バーコードは、Photographic quality symbols、白の反射率>90%、MRD90%(650nm)

- ・4回のトリガーで3回以上の読取ができること。
- ・ピッチ=15°、スキュー=0°、ロール=0°、周囲光<16001x、常温、常湿、グローランプ蛍光灯下

バーコードの傾きと読取可能角度

バーコードの傾きには、次の3種類があります。



第 2 章

#### スキュー

距離 254mm、分解能 0.508mm において、バーコードに対し垂直の上下 60°まで読取り 可能です。





バーコード正面の垂直±4°は正反射によるデッドゾーンで、読取りが悪く なることがあります。 上手く読取れない場合は、角度を変えて再度読取りを行ってください。 ピッチ

距離 177.8mm、分解能 0.508mm において、バーコードに対し垂直の左右 65°まで読取 り可能です。



#### ロール

距離 254mm、分解能 0.508mm において、バーコードに対しレーザー光を照射する角度 です。





必ずレーザー光がラベルを横切るようにしてください。また、バーコード 左右の余白(マージン)も照射してください。

### 2-3 バッテリーカートリッジ(HBC-51)について



HLT-700-02 本体には、バッテリーカートリッジは同梱されていません。別 途ご購入の上、正しくご使用ください。

バッテリーカートリッジの取り扱いの際は、必ず次のことに注意してください。

- ・ご購入頂きましたバッテリーカートリッジは、必ず充電してからご使用ください。
- ・バッテリーカートリッジの取り外しは必ず電源を切ってから行ってください。 動作中にバッテリーカートリッジを取り外すと、プログラムやデータが破壊 される恐れがあります。
- ・バッテリーカートリッジおよび本体の電極部は手で触ったり、ゴミが付着することがないようにしてください。接触不良の原因となります。
   汚れがついてしまった場合は、乾いた柔らかい布等で拭き取ってください。
- ・バッテリーカートリッジの取り付けや取り外しは、足の上に落下させないように机の上などで行ってください。
- ・ご使用の際は、必ずバッテリーカバーをつけてください。

#### 2-3-1 バッテリーカートリッジの充電

バッテリーカートリッジの充電は、専用充電器(HQC-51/HQC-54)を使用します。充 電は約2.5時間で完了します。



専用充電器(HQC-51/HQC-54)は、別途ご購入ください。 詳細については、専用充電器に付属の取扱説明書をご覧ください。 第2章 ハードウェア編

#### 2-3-2 取り付け方

バッテリーカバーを外して本体の電極部とバッテリーカートリッジの電極部の位置 を合わせ、バッテリーをの様に挿入します。

バッテリーカバーを の方向にスライドして取り付けます。

バッテリーカバーのつめが、完全に本体に挿入されたことを確認したら、ロックレ バーをの方向に戻します。完全にロックされバッテリーカバーが外れないことを確 認してください。



2-3-3 取り外し方

ロックレバーを の方向に引き上げて、ロックを解除します。

バッテリーカバーをの方向にスライドします。バッテリーカバーが固くて外しにくいときは、図のAの突起部分を矢印の方向に押しながらスライドさせます。

バッテリーカバーのツメ(図のBの部分)が完全に露出するまでの方向にスライド します。

バッテリーカバーをの方向にまっすぐ外して、中のバッテリーカートリッジを取り 出します。





バッテリーカバーを斜め に外そうとするなど、誤っ た取扱をするとバッテ リーカバーや本体を破損 させることがあります。

#### 2-3-4 バッテリーカートリッジの消耗と交換

バッテリーカートリッジは消耗品です。正しい使い方をしていても、充放電を繰り返 しているうちに、徐々に劣化していく性質があります。

規定の時間充電しても使用時間が極度に短くなるようであれば、新しいバッテリー カートリッジに交換してください。

#### 長期間の保管について

バッテリーカートリッジは長期間に渡り放置すると、過放電により電池が急激に劣化 する恐れがありますので、定期的に充電してください。長期間使用しない場合は、次 のことに注意してください。

- 1ヶ月以上使用しない場合は、バッテリーカートリッジを取り外して室温で保管してください。
- ・バッテリーカートリッジは3ヶ月以上充電しないと、電池が劣化して使用で きなくなる恐れがあります。3ヶ月に1回程度充電を行うようにしてください。

#### 2-3-5 電極の清掃に関する注意

バッテリーの使用時間が短くなる、起動しにくくなる等の症状が見られる場合、バッ テリーの劣化以外にも電極の汚れによる接触不良が原因となっていることがありま す。汚れが原因の場合はバッテリーカートリッジ側、本体側の両方の電極を清掃する ことで症状が改善します。

#### 電極の清掃方法

清潔で乾いた柔らかい布、綿棒等で電極の汚れを拭きとってください。汚れた布や指、 固い物では決してこすらないでください。また強く拭くと電極に傷がついたり、特に 本体側の電極は変形する恐れがありますので、軽い力で拭くよう注意してください。

### 2-4 メモリバックアップ期間 (バックアップ用電池について)

#### メモリバックアップ期間は3ヶ月です。

HLT-700-02 には、バッテリーカートリッジの他に、HLT-700-02 の内蔵時計やドライ プSに保存されているデータの保持のために、バックアップ用電池が内蔵されていま す。

メモリバックアップ期間とは、このバックアップ用電池が満充電から完全に消耗する までの期間のことです。

バッテリー	バッテリーカートリッジ	バックアップ用電池	
	別売り	本体内蔵	
用途	HLT-700-02 の起動に必須	HLT-700-02 の内蔵時計やドライブ Sに保存されているデータの保持	
充電時間	2.5時間 専用充電器(HQC-51/HQC-54) 使用(P.2-9)	HLT-700-02 に満充電のバッテリー カートリッジを装着し充電操作開 始後、約2日(P.2-13)	
使用可能期間 (満充電時)	約 30 時間	バッテリーカートリッジの完全消 耗から3ヶ月	
使用上の注意	3ヶ月以上充電しない場合、電 池が劣化して、使用できなくな る恐れがあります。3ヶ月に1 回程度充電を行うようにして ください。(P.2-11)	バッテリーカートリッジが完全に 消耗している状態、または取り外し たまま HLT-700-02 を 3 ヶ月以上放 置すると、バックアップ用電池も消 耗し内蔵時計の情報やドライブ S に保存されていたデータは消失し ます。3 ヶ月に1度は満充電された バッテリーカートリッジを使用し て、バックアップ用電池の充電を 行ってください (P.2-13)。	

バックアップ用電池の消耗により消失したデータは、復元できません。デー タ保持のためには、3ヶ月に1度は満充電されたバッテリーカートリッジを HLT-700-02 に装着して一度 (P) キーを押して電源を ON にしてください (「2-4-1 バックアップ用電池の充電」(P.2-13)参照)。 メモリバックアップの期間は温度等の周囲環境で大きく変り、0 以下の場 所もしくは 40 以上の場所で保存すると、バックアップ期間が急激に短く なります。バッテリーは、室温での使用をおすすめします。

(バックアップ用電池について)

### 2-4-1 バックアップ用電池の充電

バックアップ用電池の充電方法について説明します。

#### 操作手順

HLT-700-02(バッテリーカートリッジ無し)と満充電されたバッテリーカートリッジ1本を用意します。

HLT-700-02 にバッテリーカートリッジを装着します(P.2-10)。



- (W) キーを押して電源を ON にすると、バックアップ用電池への充電が開始されます。
- バックアップ用電池が完全に消耗していた場合は、この操作以降、最低2日間は バッテリーカートリッジを外さないでください。
- 充電開始後、 (PP) キーを押して電源を OFF にしても、バーコードの読取りなど通常に使用を行っても、一度バックアップ用電池への充電が開始されると、バッテ リーカートリッジが外されるか完全に消耗するまでは、バックアップ用電池への 充電を行います。
- 充電中、バッテリーカートリッジが消耗してしまったり、取り外した場合は、バッ クアップ用電池への充電は停止します。再度、から操作を行ってください。
# 2-4-2 ドライブSのデータについて

HLT-700-02 はファイルを保存する領域として、ドライブSとドライブFの2つのド ライブを持っています。

ユーザーによって入力されたデータはドライブSに保存されます。ドライブSは、揮 発性のドライブのため長期間充電を行わずに放置しておくと内容が消失してしまう ことがあります。ドライブSのメモリバックアップの期間は、バックアップ用電池が 満充電の状態から、約3ヵ月を目安としてください。



標準アプリケーションはドライブ F に保存されています。ドライブ F は不 揮発性のため、保存内容はバッテリーが完全に消耗しても消失することは ありません。

データの格納場所に関する詳細は、「3-1-1 データの格納場所」(P.3-3) をご覧ください。

# 2-5 画面出力キャラクタ

#### 全角文字

全角文字は、シフト JIS(0ADGの2バイト文字セット)を使います。 シフト JISは第1バイトが81~9F、E0~FC、第2バイトは40~7E、80~FCにありま す。次の表は、弊社で作成した拡張文字一覧です。



第2章 ハードウェア編

### 半角文字

半角文字は、OADGの1バイト文字セットを使います。80、A0、FD、FE、FFの5文字は弊社で作成した拡張文字です。

上位	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	А	В	С	D	Е	F
0				0	Q	Р	1	р			ш	-	夕	111		
1	Г		!	1	A	Q	а	q			0	ア	F	4		
2	٦	¢	33	2	В	R	b	r			Г	1	ッ	X		
3	Ľ		#	3	C	S	C	S			1	ゥ	テ	Ŧ		
4			\$	4	D	T	d	t			`	I	+	Þ		
5			%	5	Ε	U	e	U			•	オ	ナ	l		
6	=		&	6	F	V	f	۷			F	Ъ	=	Ξ		
7		Ę	,	7	G	W	g	W			7	+	R	ラ		
8			(	8	H	X	h	X			1	ク	ネ	IJ		
9	0	F	)	9		Y	i	у			ゥ	ケ	J	ll		
Α			*	:	J	Z	j	Z			I	٦	Л	V		
В	M	 ب	+	;	K	[	k	{			オ	サ	Ł	Π		
С			ī	<	L	¥					Þ	シ	7	7		
D			-	=	M	]	M	}			l	ス	^	ン		S
Ε				>	N	٨	n				Ε	t	朩	4		λ
F	₩		/	?	0	_	0				ッ	ソ	7	0		力



# ソフトウェア編

# 3-1 HLT-700-02に搭載されているソフトウェアに ついて

HLT-700-02のソフトウェアは、次の2種類で構成されています。

システムプログラム	HLT-700-02 の基本動作の制御用プログラムです。 パソコンの OS (基本ソフトウェア)に相当するも ので、あらかじめ HLT-700-02 に搭載されています。 スキャナの基本的な動作の設定や各種確認作業を 行う「システムメニュー」はこのプログラムの一部 です。
アプリケーションプログラム	ユーザ業務処理の際に使用するプログラムです。 バーコードの読取りや、パソコンへのデータ転送な どは、主にこのプログラムを使用します。 HLT-700-02 では購入後すぐにお使い頂けるように あらかじめ「標準アプリケーションプログラム (HLT700S.OUT)」がロードされています。パラメー 夕設定ソフト「Welpack-H」を使用することで、ユー ザ独自のパラメータ設定を行うことも可能です。ま た別売りのアプリケーション開発キットを使用し て、ユーザ独自のプログラムを作成でき、幅広い業 務に対応できます。



システムメニューについての詳細は、「4-2 システムメニュー」(P.4-3)をご覧ください。 標準アプリケーションについての詳細は、「3-1-3 標準アプリケーショ ンについて」(P.3-4)をご覧ください。

# 3-1-1 データの格納場所

#### データの格納場所について(ドライブの構成)

HLT-700-02 にはデータを格納する領域として、ドライブSとドライブFの2つのド ライブを持っています。

ドライブ	データ保持	用途	最大保存数
ドライブS	揮発性メモリ バックアップ用電池が無 くなった後は、ドライブ の内容は消失します。	頻繁に書き換えが行われる ファイルを格納する領域と して使用します。	32 ファイル
ドライブF	不揮発性メモリ バックアップ用電池が無 くなった後も、ドライプ の内容は保持されます。	アプリケーション、データ ベースマスターファイル等 書き換えの起こらないファ イルを格納するための領域 として使用します。	24 ファイル

ドライブFにファイルを受信する場合、ファイルを一度ドライブSに受信した後にド ライブFへ移動します。ファイルをドライブFに受信する際には、あらかじめ受信す るファイルを格納するのに十分な空き領域がドライブSにあることをご確認ください。

また、ドライブSに同名のファイルがあった場合、ドライブFへファイルを移動した後、ドライブSにあったファイルは消去されます。

#### ファイル名について

HLT-700-02 で使用できるファイル名には、次の制限があります。

ファイル名	1~8 バイトの長さで、アルファベット(A~Z)、数字(0~9)、一部の 記号(!#%&'()@^_{}~)を任意に組み合わせて作成することができます。 全角文字は使用できません。
拡張子	1~3 バイトの長さで指定してください。拡張子を省略することもでき ます。使用できる文字はファイル名と同じです。 拡張子を指定する場合は、ファイル名との間に「.」が必要になります。
	「.OUT」という拡張子のファイルをアプリケーションとして認識します。 「.FNV」という拡張子のファイルをフォントファイルとして認識します。

第 3 章

#### 3-1-2 システムメニューについて

システムメニューでは、HLT-700-02 の基本的な動作設定やアプリケーションプログ ラムのインストール、データファイルの転送などを行います。



↓ システムメニューについての詳細は、「4-2 システムメニュー」(P.4-3)をご覧ください。

# 3-1-3 標準アプリケーションについて

標準アプリケーション

標準アプリケーションは、出荷時に HLT-700-02 に搭載されており、HLT-700-02 の電 源を入れると自動的に起動するように設定されています。(P.4-6)このアプリケー ションは、基本的なデータの入力、送信を行うためのもので、通常の使用で想定され るユーザの業務処理を行うことができます。

標準アプリケーションでは、次の操作を行えます。

- ・バーコードの入力方法の切り替え (読取キーを使用/テンキーを使用するマニュアル入力)
- ・入力したデータの確認
- ・データの送受信および削除
- ・起動パラメータの設定
- ・パラメータファイルの切り替え、受信、削除
- ・システムメニューの起動
- ・オートパワーオフの設定
- ・バックライト点灯の設定
- ・レーザー照射時間の設定
- ・バイブ機能の有無の切り替え
- ・標準アプリケーションとシステムプログラムのバージョン情報の確認

以下の機能は標準アプリケーション Ver.1.10 以降で操作が可能です。

- ・トリガ機能の切り替え
- ・パワーセーブモードの切り替え
- ・データの履歴参照、レコード削除



│ 標準アプリケーションについての詳細は、「HLT-700-02 標準アプリ ┘ ↓ ケーション」ユーザーズマニュアルをご覧ください。

#### 標準アプリケーションのカスタマイズ「Welpack-H(別売り)」

標準アプリケーションをカスタマイズするための専用ソフトウェア、「Welpack-H」 を使用することで、標準アプリケーションをより細かく設定することができます。 「Welpack-H」では、標準アプリケーションで可能な設定に加えて次の設定ができま す。

・ガイダンスメッセージ	各局面におけるメッセージをカスタマイズできま す。
・読取コード	読取り可能なコード体系を設定できます。
・ファイル形式	ID レコードや EOF コードを付加できます。
・レコード形式	データ数や書式などをカスタマイズできます。
・マッチング検査機能	データを比較して無効なデータの入力を抑制でき
	ます。
・フィルタリング機能	入力を許可するデータ書式を設定できます。
・自動編集機能	入力データを一定の書式に基づき編集できます。
・検索機能	入力したデータをキーとしてファイルを検索でき
	ます。
・バイブ機能の設定	ブザー音と同時にバイブレーション機能を作動す
	るかの有無を設定できます。
・トリガ機能の設定	読取りキーの動作を設定します。
・パワーセーブモード機能の設定	消費電流を抑えるための設定をします。

・その他の機能の設定 エラーメッセージの表示、キーコンフィグなど



Welpack-H についての詳細は、ソフトウェア付属のヘルプをご覧ください。



HLT-700-02 標準アプリケーション用パラメータ設定ソフトウェアである 「Welpack X for ELT」および「Welpack-H」は、標準アプリケーションの全 てのバージョンでお使いいただけます。

ただし、標準アプリケーション Ver.1.10 以降のみ有効な機能についてカス タマイズしたい場合は、「Welpack-H」が必要です。



設定編

# 4-1 はじめに

HLT-700-02 では「システムメニュー」を使用して、HLT-700-02 動作設定、アプリケー ションプログラムのインストール、データファイルの転送、各種確認作業等を行うこ とができます。

「システムメニュー」とはシステムプログラム(P.3-2)の一部で、あらかじめ HLT-700-02 に搭載されています。

この章では、「システムメニュー」の使い方を中心に、HLT-700-02 の動作設定や各 種確認作業について説明します。

# 4-2 システムメニュー

# 4-2-1 システムメニュー一覧

システムメニューで表示される項目は次のとおりです。 [カッコ]は、出荷時の設定です。 (P.\*\*)は、本マニュアルでの参照ページです。



### 4-2-2 システムメニューの起動

ご購入直後にシステムメニューを起動する場合【自動実行(P.4-6)にアプリケーションが設定されている時】は、バッテリーカートリッジが装着されて電源 OFF の状態で、 次の操作を行います。

読取キーを押しながら 🖤 キーを1秒程度押し続ける

HLT-700-02の電源が ON になり、"ピピッ"という音と共にシステムメニューが起動 します。画面には、システムメニューを表示します。自動実行にシステムメニューが 設定されている時は、 (??) キーを押すとシステムメニューを起動します。

### 4-2-3 システムメニューの操作

システムメニューの操作は、次のキーを使用します。

©	1 つ前のメニューに戻ります。		
(1~9)	該当する番号のメニュー項目を選択します。		
ENT	メニュー項目の選択を確定します。		
F4	バックライトを点灯します。		
( ) ( ) ( ) ( ) ( )	メニュー項目に表示されているカーソル(選択領域) を矢印の方向に移動します。		

操作方法

メニュー項目を選択する

各メニューの左にある項目番号に該当するテンキー (①~⑨)を押すか、 (※) ~ (※)を押してカーソルを任 意の方向に移動します。カーソルの移動したメニュー項 目は、ハイライト表示(反転表示=選択されている状態) になります。この状態で(※)キーを押します。選択した

< ୬ステム	אבי- >
1:設定	3:確認
2:ファイル	4:テスト

メニュー項目に該当する機能が実行するか、または次のメニューを表示します。

前のメニューに戻る

前のメニューに戻るときは ⓒ キーを押します。 戻り先のメニューでは、直前に 選択していたメニュー項目をハイライト (反転)表示します。

#### 画面の表示について

表示されるメニュー(画面)によっては、項目の左側に「F:~」または「S:~」のようなアルファベットが表示される場合があります。項目の左側に表示されているアルファベットは、「F」=「ドライブF」、「S」=「ドライブS」を表します。

すべてのメニュー項目が1 画面に収まらない場合は、画面 の左側に[](画面の上にメニュー項目が隠れている場合) または[](画面の下にメニュー項目が隠れている場合) を表示します。また、隠れているメニュー項目にカーソル( を移動すると、自動的に画面がスクロールします。



# 4-3 自動的に起動するプログラムの設定

電源を ON にしたときに、自動的に起動するプログラムの設定を行います。出荷時の 状態では、標準アプリケーションが設定されています。

#### 操作手順



アプリケーションを選択すると、最下行には選択したアプリケーション名を表示 します。

アプリケーションが格納されていない場合 アプリケーションが1つもない場合は、「ファイルがありません」と表示します。 ⓒ キーを押すと、1つ前の画面に戻ります。

# 4-4 アプリケーションの起動

システムメニューの実行中に、任意のアプリケーションを起動することができます。

#### 操作手順

システムメニューから「2:ファイル」を選択します。 「1:実行」を選択します。 < ファイル 操作 > 1:実行 5:テスト 6:情報 2:送信 3:受信 7:1 517 4:削除 8:7121 実行するアプリケーション選択すると、アプリケーショ < アプリケーションの選択 > ンを起動します。 F:HLT700S.OUT 100K アプリケーションが起動される前に、ファイル < ファイルの再配置中 > システムがファイルの再配置を行う場合があり アプリケーションの記動準備 ます。 をしています。 絶対に電池を取り外さ 建意 ファイルの再配置には、数秒から数分かかる場 合もありますが、この間は絶対に電池を外さな ないでください。 いでください。このときに電池を外すと、ドラ

イブ内のすべてのデータが壊れます。

# 4-5 ファイルの送受信

### 4-5-1 通信前の準備

HLT-700-02 とホストコンピュータ間では、次の 2 つの接続方法でデータを送受信することができます。

ホストコンピュータと HLT-700-02 を PC 接続用 ケーブル (HOP-C031) で接続。

別途購入

「PC 接続用ケーブル(HOP-CO31)」

ホストコンピュータと光通信ユニット(HIF-51) を HIF-51 PC 接続用ケーブル(WRS-AXC003A) で接続。光通信ユニットと IrDA 通信。

別途購入

「光通信ユニット(HIF-51)」

「HIF-51 PC 接続用ケーブル(WRS-AXC003A)」







光通信ユニット(HIF-51)をデイジーチェーン接続(P.6-6)で使用す る場合は、別途デイジーチェーン接続用ケーブル(STP-C001A)をご購 入ください

#### デイジーチェーン接続について

1 台のホストコンピュータに対して、光通信ユ ニットをデイジーチェーン接続することで複数 のHLT-700-02 との接続が可能になります。 ホストコンピュータから 1 つのファイルを、一 度に複数の端末へ送信(同報送信)することが 可能です。

接続の方法は、「6-2-1 ホストコンピュータと の接続」(P.6-5)をご覧ください。





ホストコンピュータとデータの送受信を行うには、ホストコンピュータ側にファイル 転送プログラム「Welfer for Windows」がインストールされている必要があります。 別途ご購入の上、プログラムを事前にインストールしてください。

通信方法を選択して機器を準備したら、次の手順で接続します。

#### 操作手順

「Welfer for Windows」がインストールされているホストコンピュータを起動 します。

光通信ユニット(HIF-51)をHIF-51 PC 接続用ケーブルでホストコンピュータと 接続した後、光通信ユニットの電源を ON にします。

HLT-700-02 とホストコンピュータを直接接続する場合は、PC 接続用ケーブルで接続します。

「Welfer for Windows」を起動して、ファイルの送受信に必要な設定(確認) をします。(P.4-10)

HLT-700-02の電源を ON にして、システムメニューから端末 ID およびシリアル通 信の設定(確認)をします。(P.4-12)



光通信ユニット(HIF-51)をデイジーチェーン接続で使用している場合、 ホストコンピュータから、1 つのファイルを複数の端末に一度に送信 (同報送信)することが可能です。(P.6-6)

また、デイジーチェーン接続されている複数の光通信ユニットでは、どのユニットからもホストコンピュータへデータを送信することが可能 です。

ファイルを送受信します。

・HLT-700-02 からホストコンピュータにファイルを送信する場合>P.4-14 ・HLT-700-02 でホストコンピュータからファイルを受信する場合>P.4-15

# 4-5-2 「Welfer for Windows」の通信設定

「Welfer for Windows」の基本的な設定



ファイルの送受信を行うには、ホストコンピュータ側に「Welfer for Windows」(別売り)をインストールしてください。

「Welfer for Windows」を起動すると、 「通信モニタ」画面を表示します。

(特ち売け本) (特も売け本)	- 4800		29-31 Freely	
9700-11		_		
480t	IN BRADE	0/15-0 001	1942 (R. 197 1942 - R. 197	
_				年上記

「Welfer forWindows」の基本設定は、 タスクパーのアイコンを右クリックして 表示されるコンテキストメニューから行 います。

タスクバーのアイコンを右クリックして [プロパティ]を選択すると、通信に関す る設定を行うダイアログを表示します。



プログラムインストール後の既定値は、次の様に設定されています。

システム構成	光通信システム
通信ポート	通信ポート(COM1)
通信速度	9600
データビット	8ビット
パリティ	なし
ストップビット	1ビット
フロー制御	RTS/CTS



#### HLT-700-02 から受信(アップロード)したファイルの保存場所

アップロードしたファイルの保存場所を設定します。

プログラムをインストールした直後のファイルの保存先は、カレントディレクトリ (Welfer32.exeのあるディレクトリ)に設定されています。

任意のディレクトリを保存先に指定する場合は、プロパティの[アップロード]タブを クリックします。表示される画面の「保存す る場所」の[参照]ボタンを押して、保存先 のディレクトリを指定します。この際、ディ レクトリを直接指定することはできません。 ディレクトリ内のファイルを指定してくだ さい。保存先を指定しない場合は、カレント ディレクトリに保存されます。

	ANDERSON FOR
180+5480	
Devigent Indexted aspheticspiel det	ei00.
E BRADT-ROBATION	

 「Welfer for Windows」で、アップロードする際のファイルの保存先を、 任意のディレクトリに指定する場合
 はじめに、保存先にするディレクトリに保存されているファイルを選択します。 次に、ウィンドウ内の「保存する場所」に入力されているパスの一番最後のファイル名を削除すると、ディレクトリを指定したことになります。 保存する場所がファイル名になっている場合、HLT-700-02 から送信されるファイルは全てここで指定したファイル名で保存されます。
 HLT-700-02 から違うファイルを送信しても、ここで設定されているファイル名で上書き保存されます。
 -例 ・ファイルを指定した状態 D:¥Program Files¥Welfer¥sample02.dat
 ・ディレクトリを指定した状態 D:¥Program Files¥Welfer 第4章 設定編

## 4-5-3 HLT-700-02 の通信設定

ID の設定

端末 ID を設定します。HLT-700-02 では 10~99 まで設定できます。出荷時設定は「10」 です。ホストコンピュータとファイルの送受信を行う際に、ここで設定した ID が必 要になります。

#### 操作手順

システムメニューから「1:設定」を選択します。 「2:ID」を選択します。



(m) キーを押すと端末 ID が設定できるようになります。
 10~99 の間で設定したら (m) キーを押して、設定変更を確定します。



例) IDを10に設定する場合、①を押して②を押す

© キーを押して前の画面に戻ります。

### シリアル通信の設定

システムメニューから「1:設定」を選択します。 「3:シリアル通信」を選択すると、現在の通信設定を 表示します。

出荷時の通信設定

1:ボーレート	115200bps
2:データ長	8ビット
3:ストップビット長	1ビット
4:パリティ	なし
5:ポート	l r DA

1:自動実行 5:コントラスト 2:ID 6:ブザー <u>3**:ンンフル通信**</u> 4:時計

< 設定 >

1:ポーレート	1152	200bps
2:データ長		8bit
3: ストップ ビッ	小長	1bit
4:パリティ		なし
5:ポ <b>ー</b> ト		IRDA

各項目にカーソルを合わせて、 (20) キーを押すと現在設定されている値を変更できま す。設定できる項目と数値は次のとおりです。

1:ボーレート	2400bps • 9600bps • 19200bps • 38400bps • 57600bps • 115200bps
2:データ長	7 ビットまたは 8 ビット
3:ストップビット長	1 ビットまたは 2 ビット
4:パリティ	奇数パリティ・偶数パリティ・なし
5:ポート	IrDA (赤外線通信)または RS232C

「Welfer for Windows」を使用したファイルの送受信では、HLT-700-02 の通信設 定を次のように設定してください。

ボーレート	2400bps~115200bps(Welfer と同じ設定)
データ長	8ビット
ストップビット長	1ビットまたは2ビット(Welfer と同じ設定)
パリティ	なし、奇数、偶数(Welfer と同じ設定)
ポート	任意



HLT-700-02の通信設定は、必ずホストコンピュータにインストールされている「Welfer for Windows」の通信設定と同じ条件に設定してください。

## 4-5-4 ファイルの送信

「Welfer for Windows」を使用して、HLT-700-02 からホストコンピュータへファ イルを送信します。

#### 操作手順

「Welfer for Windows」がインストールされているホストコンピュータを起動 します。

光通信ユニット(HIF-51)をHIF-51 PC 接続用ケーブルでホストコンピュータと 接続した後、光通信ユニット(HIF-51)の電源をON にします。

HLT-700-02 とホストコンピュータを直接接続する場合は、PC 接続用ケーブルで接続します。

ホストコンピュータの「Welfer for Windows」を起動します。

HLT-700-02の電源を ON にして、システムメニューから「2:ファイル」を選択します。

「2:送信」を選択します。

< 77小 1:実行 2:送信 3:受信	操作 > 5:テスト 6:情報 7:ドライブ 8:フォント
4:削除	8:7ォント

ファイル送信方法を選択します。光通信ユニット(HIF-51)を使用して、赤外線通信を行う場合は、「1:IrDA」 を選択。PC 接続用ケープル(HOP-C031)でHLT-700-02 とホストコンピュータを直接接続している場合は、「2: RS232C」を選択します。



送信するファイルを選択して、ファイルを送信します。



送信完了を表わす画面が HLT-700-02 に表示されたら、 ⓒ キーを押して前の画面に戻ります。

< ファイルの送信 >

S:SAMPLE01.DAT

送信完了



光通信ユニット(HIF-51)を使用してファイルの送受信を行う場合、通信 中にHLT-700-02を光通信ユニットから外さないでください。

# 4-5-5 ファイルの受信

「Welfer for Windows」を使用して、ホストコンピュータから送信するファイルを HLT-700-02 で受信します。

#### 操作手順

「Welfer for Windows」がインストールされているホストコンピュータを起動 します。

光通信ユニット(HIF-51)をHIF-51 PC 接続用ケーブルでホストコンピュータと 接続した後、光通信ユニットの電源を ON にします。

HLT-700-02 とホストコンピュータを直接接続する場合は、PC 接続用ケーブルで接続します。

ホストコンピュータの「Welfer for Windows」を起動すると、右の画面を表示 します。画面下の[ダウンロード]ボタ ンを押します。または、タスクバーのア イコンを右クリックして[ダウンロード] を選択します。

00000/327//	
(1955)(100.43)	29-32
(1985)	Freely
9720-17	142 (FUTO)
98802 () 80402 () 200	18830
1010 / 1010 4 00 8	18730
P208-9700-	000 UNU

表示されたウィンドウの [ 参照 ] ボタン を押して、送信するファイルを選択しま す。

Million 1 to Mildow - PT.S-P		2
Different Fertilikkel Geskillerskille for	980.	
andone and the states and		5
- WH - 1475	1670	1

の画面で、ファイル送信先の HLT-700-02 の端末 ID を入力します。



光通信ユニット(HIF-51)をデイジーチェーン接続で使用しており、1 つのファイルを複数の端末に一度に送信(同報送信)する場合は、端末 IDに\*\*を入力します。(P.6-6) HLT-700-02の電源を ON にして、システムメニューから「2:ファイル」を選択します。

「3:受信」を選択します。

ファイル受信方法を選択します。光通信ユニット (HIF-51)を使用して、赤外線通信を行う場合は、「1: IrDA」を選択。PC 接続用ケーブル(HOP-C031)でHLT-700-02 と直接ホストコンピュータを接続している場合 は「2:RS232C」を選択します。

ファイルの格納先を選択すると、受信待ちの状態になり ます。

ホストコンピュータ側で表示されている、前ページの 画面の[開始]ボタンを押して、ダウンロードを開始し ます。

受信完了を表わす画面が HLT-700-02 に表示されたら、 ⓒ キーを押して前の画面に戻ります。

< ファイル 1:実行	操作 > 5:元ト
2:送信   3:受信  4:削除	6:情報 ■ 7:ドライブ 8:フォント





マアイルの受信 > 0001000 /0001000 完了しました



光通信ユニット(HIF-51)を使用してファイルの送受信を行う場合、通信 中に HLT-700-02 を光通信ユニットから外さないでください。



「Welfer for Windows」の通信設定は、ソフトウェア付属のマニュア ルをご覧ください。

# 4-6 ファイルの削除

不要なファイルを削除します。

### 操作手順

システムメニューから「2:ファイル」を選択します。 「4:削除」を選択します。

削除するファイルを選択します。

「1:削除」を選択して、ファイルを削除します。中止 する場合は「2:キャンセル」を選択します。

	< 7711	<b>操作</b> >
		1711
	1:美仃	5:775
	2・洋信	いたち
	민슨··	
	3:受信	7:1.517
	4. 111/4	0.7.1
	4:削际	8:7775
- 1		

「< 削除ファイルの選択」 F:SAMPLE01.DAT	> 10K

# 4-7 画面表示に関する設定

# 4-7-1 画面コントラストの調節

液晶画面のコントラストを設定(8段階)します。

#### 操作手順

システムメニューから「1:設定」を選択します。

「5:コントラスト」を選択します。

画面コントラストを設定します。 <sup>(1)</sup> キーを押すと表示 は一段階薄くなります。 <sup>(2)</sup> キーを押すと表示は一段階 濃くなります。 (2) キーを押して確定すると、前の画面 に戻ります。

入力を中止して元の値に戻すには、 ② キーを押します。

	1:自動実行 5 <b>:17/57/</b> 2:1D 6:7 サー 3:シリアル通信 4:時計
	< 画面コントラストの設定 >
0	F <u>5</u> F8

表示サンブル 表示サンブル

く設定し

### 4-7-2 フォントの変更

フォントファイルがインストールされている場合、アプリケーションで使用するフォ ントを変更することができます。



システムメニューで使用するフォントは変更できません。デフォルトゴ シック(12dot 表示)のみ使用できます。

操作手順

システムメニューから「2:ファイル」を選択します。

「8:フォント」を選択します。

最下行には、現在設定されているフォント名を表示しま す。「1:デフォルトゴシック」はシステムメニューで 使用されているフォントです。

フォントを変更する場合は、「2:追加フォント」を選 択して、フォントファイルの一覧を表示します。例えば、 HLT-700-02 用機種別ライプラリ(HAP-LIB-61 別売り) に付属している 16dot ゴシックフォントをロードする

と、16dot のフォント表示が可能です。

追加フォントを使用する場合、アプリケーションがそのフォントに対応している 必要があります。アプリケーションが対応していないフォントを選択した場合、 アプリケーションを実行できなかったり、画面表示が乱れたりすることがありま す。

フォントファイルの拡張子は「FNV」です。



出荷時の状態では、フォントファイル(~.FNV)は格納されていません。 HLT-700-02 用機種別ライブラリ(HAP-LIB-61 別売り)に付属している 16dot ゴシックフォントなどを別途ドライブ F にダウンロードした上で、フォン トの変更を行ってください。



< ファイル 操作 > 1:実行 5:

2:送信

3:受信

5:77

6·情報

7:ドライブ

# 4-8 各種機能の設定

### 4-8-1 時計の設定

システムの時計を設定します。

#### 操作手順

システムメニューから「1:設定」を選択します。

「4:時計」を選択します。



(☆) キーや (④) キーで設定する年月日時分秒を選択し、テンキーで値を入力します。
 (∞) キーを押して設定を確定します。
 入力を中止して元の値に戻すには、 (○) キーを押します。

ここで設定した時間は、「4-9-5 時計」(P.4-25)で確認できます。

# 4-8-2 ブザーおよびバイブレータの設定

キー操作や読取り確認の際に鳴るブザーを、バイブレータに設定したりブザーとバイ ブレータを両方使用するように設定することができます。

#### 操作手順

システムメニューから「1:設定」を選択します。 「6:ブザー」を選択します。



「2:デバイス選択」を選択します。 「1:ブザー」="ピー"という音が鳴ります。 「2:バイブ」=本体が振動します。 「3:両方」="ピー"という音と同時に本体が振動し ます。



# 4-8-3 ブザー音量の調節

ブザーの音量(8段階)します。

操作手順

システムメニューから「1:設定」を選択します。 「6:ブザー」を選択します。

ブザーの音量を設定します。 (☞) キーを押すと1段階小 さくなります(最小値1)。 (☞) キーを押すと1段階大 きくなります(最大値8)。 (☞) キーを押して設定を確 定します。

(ボンキーを押して値を一番左("1")にすると、無音 (バイブは無振動)になります。

入力を中止して元の値に戻すには、 ⓒ キーを押します。







バイブレータはブザーの音量(2~8)設定に関らず、常に一定の振動をし ます。

#### 各種情報の確認 4-9

# 4-9-1 ファイル情報

ファイルの情報を表示します。ここで取得できる情報は次のとおりです。

- ・ファイルの名前
- ・ファイルの種類
- ・ファイルのサイズ
- ・ファイルの最終更新日時(年月日時分秒)

### 操作手順

システムメニューから「2:ファイル」を選択します。 「6:情報」を選択します。	マァイル 操作 > 1:実行 5:テスト 2:送信 5:テネk 3:受信 7:ト ライフ 4:削除 8:フォント
ファイルを選択します。	< ファイルの選択 > S:SAMPLE01.DAT 10K S:SAMPLE02.DAT 15K S:SAMPLE03.DAT 20K
ファイルの情報を表示します。 ⓒ キーを押すと、1 つ 前の画面に戻ります。	S:SAMPLE01.DATの情報 種類: データ サイズ: 10240 Byte 日付: 2001/08/01

04:15:24

# 4-9-2 ドライブ情報

ドライブの情報を表示します。ここで取得できる情報は次のとおりです。

- ・ドライブの名前
- ・ドライブの全容量
- ・ドライブの空き容量
- ・現在格納されているファイル数と残りのファイル作成可能な数

#### 操作手順

システムメニューから「2:ファイル」を選択します。

「7:ドライブ」を選択します。

情報を表示するドライブを選択します。

ドライブの情報を表示します。 ⓒ キーを押すと、1つ 前の画面に戻ります。

< 77小	操作 >
1:実行	5:テスト
2:送信	<u>6:</u> 情報
3: 支信	7:ト ライノ
4:削除	8:フォント

第 4 二

< ドライブの選択 >



	_
< ドライブ情報 > ドライブ5	
字 217 F 全容量: 1572864byte	
空容量: 1234567byte	
ファ1ル釵:51個 残り:19	

#### 4-9-3 電池電圧

HLT-700-02 に装着されているバッテリーカートリッジの電圧を表示します。

#### 操作手順

システムメニューから「3:確認」を選択します。 「1:電池電圧」を選択します。

バッテリーカートリッジの電圧をインジケータ表示します。 ⓒ キーを押すと、1 つ前の画面に戻ります。





この表示は、正確な電池残量ではありません。電池残量の目安として使用 してください。

# 4-9-4 OS バージョン

HLT-700-02 に搭載されているシステムプログラム(OS)を表示します。

#### 操作手順

システムメニューから「3:確認」を選択します。 「2:0S バージョン」を選択します。



バージョンを表示します。 ⓒ キーを押すと、1 つ前の 画面に戻ります。

< バージョンの確認 >

OS : V1.00

### 4-9-5 時計

「4-8-1 時計の設定」(P.4-20)で設定した時刻を表示します。

# 操作手順

システムメニューから「3:確認」を選択します。 「3:時計」を選択します。

現在の時刻を表示します。

< 確認 > 1:電池電圧 2:0Sバージョン 3:時計

< ただいまの時刻 > 2001 / 08 / 01 02 : 35 : 47

# 4-10 テスト機能について

### 4-10-1 ファイルのテスト

格納されているファイルが壊れていないかどうかのテストを行います。メニューを選 択すると、ドライブSに格納されているファイルに対して、自動的にテストが行われ ます。

#### 操作手順

システムメニューから「2:ファイル」を選択します。 「5:テスト」を選択して、ファイルのテストを開始し ます。

テストが完了すると、右のメッセージ画面1を表示しま す。

ファイルが壊れていた場合は、テストの途中でメッセー ジ画面2のようなメッセージを表示します。

壊れたファイルをそのまま使用すると、アプリケーションの暴走を招く恐れがあります。これが重要なファイル でないのなら、 (M) キーを押してファイルを削除してく ださい。

< ファイル	操作 >
1:実行	5:77ト
2:送信	6:情報
3:受信	7:ドライブ
4:削除	8:フォント



メッセージ画面 1

壊れているファイルは、削除するかホストコンピュータ へ送信して、内容を復旧するなどの措置をとってくださ い。



メッセージ画面 2

画面	操作キー	処理
① :無視	読取キー	このファイルは(内容が異常であっても)正常なファイ ルとして、テスト処理を続行します。再度、テスト行っ てもメッセージ画面2は表示されません。
①:放置	© <b>+</b> -	何も処理をしません。OS は次の起動時やファイルテスト 時などに再度ユーザに選択を求めます。
🕢 : 削除	ENT +-	ファイルを削除します。エラー表示されたファイルが重 要なファイルでない場合は、可能な限り削除をおすすめ します。

# 4-10-2 シリアル通信のテスト

HLT-700-02 のシリアル通信のテストを行います。

テストの実行には、データ通信の準備が必要です。「4-5-1 通信前の準備」(P.4-8)をご覧ください。

#### 操作手順

ホストコンピュータと HLT-700-02 を PC 接続用ケーブル (HOP-C031) で接続しま す。

ホストコンピュータ側で通信ソフト(ハイパーターミナル等)を起動します。通 信ソフトの設定は、HLT-700-02の通信設定と同じ設定にします。

システムメニューから「4:テスト」を選択します。

「1:シリアル通信」を選択します。

シリアル通信では、ループバックテストを行います。ホ ストコンピュータのキーボードで任意のキーを入力す ると、HLT-700-02の画面に同じ文字を表示します。こ の時、通信ソフト側で"ローカルエコー"の設定がされ ていると、キーボードで入力したキーがホストコン ピュータ上でも確認できます。また、HLT-700-02と直 接 PC 接続用ケーブルで接続している場合は、ホストコ ンピュータの画面に同じ文字を2つずつ表示します。

② キーを押すと、テスト前の画面に戻ります。



< シリアル通信のテスト > abcdefg

通信ソフトの画面例

>aabbccddeeffgg
#### 4-10-3 バーコード読取のテスト

バーコードの読取りテストを行います。サンプルのバーコードは、「付録 サンプル バーコード」(付録-2)に掲載されています。

#### 操作手順

システムメニューから「4:テスト」を選択します。 「2:バーコード」を選択します。



読取キーを押してバーコードを読取ります。読取った結 果を、右の画面の様に表示します。

読取ったバーコードを、2行目に表示します。最下行に は読取ったバーコードの種類と桁数を表示します。読取 キーを押し続けると、約1秒後に連続読取モードになり < バ-コード テスト > 4994121104579 JAN13 13村テ 100%

ます。読取キーを放すまでの間、バーコードの読取りを続け、画面右下に読取り 成功率を表示します。

#### 4-10-4 画面表示のテスト

画面表示のテストを行います。

#### 操作手順

「4:テスト」を選択します。 「3:画面表示」を選択します。



バックライトが点灯して、画面全体が塗りつぶされます。何かキーを押すと次々 と文字を表示します。読取キーを押すと、表示されている画面のままテストを一 時停止し、もう一度押すと再開します。 ⓒ キーを押すと、テストを中断してテ スト前の画面に戻ります。



#### 4-10-5 キー入力のテスト

キー入力のテストを行います。同時に、ブザー、バイブレーション、LED の点灯テス トを行います。

#### 操作手順

「4:テスト」を選択します。

「4:キー入力」を選択します。



テスト画面になります。何かキーを押すと、押したキーのマークを画面に表示します。 ③ キーを押しながら何かキーを押すと、マークを反転表示します。また、 どのキーを押してもプザーとバイプレーションが強制的にテストされます。

テスト中は @ を押しても電源を切ることはできません。 ⓒ を押すと、テスト前の画面に戻ります。

入力されるキーに応じて、LED の点灯テストも行います。それぞれのキー入力に 対する LED 表示については、次の表をご覧ください。

+-	読取 LED 発光色	警告 LED 発光色	
PW BS SF ENT 読取キー	オレンジ	赤	
0~9 •	緑		
(F1) ~ (F8)	赤		

## 4-11 その他の機能

#### 4-11-1 低電圧警告

装着されているバッテリーカートリッジの残量が少なくなってくると、システムメ ニューでは次の操作が行えなくなります。

- ・アプリケーションの起動
- ・ファイルの送受信と削除、テスト
- ・時計の設定

バッテリーカートリッジの残量が少なくなっているときに 上記の操作を行うと、右のような画面を表示します。 この時、画面 2 行目に[ローバッテリー]と表示して、"ピー、 ピー、ピー"と警告音を 3 回鳴らします。

バッテリーカートリッジの残量が少なくなっても、上記以 外のシステムメニューの操作は行えます。 さらに、電圧が規定値を下回ると、"ピピピピピピ"、"と 警告音を鳴らしながら、右の画面のメッセージを5秒間表 示した後、自動的に電源が切れます。



[ D-N y7U- ] 充電してください!

#### 4-11-2 オートパワーオフ

システムメニューでは、約10分間一切のキー操作が行われないと自動的に電源が切れます。



アプリケーションにもこの機能が搭載されている場合があります。詳しく はそれぞれのアプリケーションのマニュアルをご覧ください。

# 4-12 HLT-700-02の初期化

HLT-700-02 を使用中に、何らかの原因でシステムの記憶領域の内容に障害が発生し、 正常に動作しない場合があります。システムメニューでは、それらのほとんどの異常 を自動的に修正しますが、重大な障害は正しく修正できないことがあります。

このような場合は、次の方法で内部記憶を消去し、出荷時の状態に戻すことができます。



これらの操作は、HLT-700-02 に保存されているシステムメニューの設定またはデータやプログラムを消去します。十分注意してから実行してください。

#### システムメニューの初期化



- 1. HLT-700-02 の電源を OFF にします。
- 2. 読取キー、③ キー、 ⑥ キーの 3 つのキーを同時に押しながら @ キーを押すと、 システムメニューの内容が初期化されて、システムメニューを再起動します。

この操作によって、システムメニュー中の設定の内容を全て初期化します。保存され ているファイルが消去されることはありません。

#### すべての初期化

この操作では、システムプログラムを除くすべてのファイル、アプリケー ションが削除されます。HLT-700-02 ご購入時に搭載されてる、「標準アプ リケーション」も削除されます。初期化の前にバックアップを取るなどし て、十分注意して実行してください。

すべての初期化を行う前に、必ず十分に充電されたバッテリーカートリッジを用意してください。すべての初期化には数分から10分程度かかります。 この間は一切のキー入力はできません。途中でバッテリーカートリッジが 消耗されると初期化が完全に行われずにHLT-700-02内のデータ領域に障害 が発生することがあります。

#### 操作手順

- 1. HLT-700-02の電源を OFF にします。
- 2. ③ キー、 ⓒ キー、 ⊙ キーの 3 つのキーを同時に押しながら 卿 キーを押すと、 確認メッセージを表示した後に HLT-700-02 を初期化します。

すべての初期化には数分から 10 分程度かかります。この間は一切のキー入力はできません。また、途中でバッテリーカートリッジを取り外すと HLT-700-02 のデータ領域に障害が発生することがあります。

#### 保守に際してのご注意

HLT-700-02 の修理・点検の際にはすべての初期化を行いますので、あらかじめご了 承願います。標準アプリケーションについては再インストールしてご返却いたします が、お客様で作成されたファイルは再インストールできませんのでご注意ください。 お客様で作成されたファイルはバックアップを取っておくことをお勧めします。



FAQ 編

# 5-1 FAQ(よくある質問と回答)

ここでは、よくある質問やトラブルおよびトラブルを解決するために確認する必要の ある項目と本マニュアルの参照ページを記載します。ここで解決できないトラブルは 本マニュアル「FAX お問い合せ票/修理依頼票」に必要事項をご記入の上、弊社まで ご連絡ください。

#### Q:電源が入らない

バッテリーカートリッジは正しく装着されていますか?----(P.2-9) バッテリーカートリッジは充電されていますか?----(P.2-9) バッテリーカートリッジの電極は汚れていませんか?----(P.2-9)

#### Q:画面に何も表示されない

バッテリーカートリッジは正しく装着されていますか?----(P.2-9) バッテリーカートリッジは充電されていますか?----(P.2-9) バッテリーカートリッジの電極は汚れていませんか?----(P.2-9)

< 上記の項目を確認しても解決できない場合> 次の方法で、システムメニューを起動してみてください。

「バッテリーカートリッジを取り外します」「10秒待ちます」「バッテリーカートリッジを装着します」 「読取キーを押しながら (???) を押します」

上記の方法でも問題が解決されない場合は、電源を OFF にして、 SF + C + 読取り キーを押しながら PM キーを押して、システムメニューの初期化を行ってください。 ----(P.4-31)

Q: しばらく操作を中断したら、電源がOFF になってしまった

バッテリーカートリッジは充電されていますか?----(P.2-9) オートパワーオフ機能が起動していませんか?----(P.4-30)

#### Q:充電できない

バッテリーカートリッジは充電器に正しく装着されていますか? 「バッテリーカートリッジ HQC-51/54」付属の取扱説明書をご覧ください。 Q:システムメニューが起動しない

自動実行に"アプリケーション"が設定されていませんか?----(P.4-6) システムメニューの「1:設定」>「1:自動実行」で設定してください。

強制的にシステムメニューを起動する場合は、読取キーを押しながら PM キーを押し てください。----(P.4-4)

#### Q:電源を ON にしたときに起動するアプリケーションを変更 したい

システムメニューの「1:設定」>「1:自動実行」で設定してください。----(P.4-6)

Q: 別のアプリケーションを起動するには

システムメニューの「2:ファイル」>「1:実行」で、起動したいアプリケーション を選択してください。----(P.4-7)

Q: バーコードが上手く読取れない

アプリケーションの設定に沿ったバーコードを読取っていますか? アプリケーションの設定によっては、特定の種類のバーコードが読取り禁止になっている 場合があります。

正反射が起こってませんか? ----(P.2-7) 読取距離は正しいですか? ----(P.2-5) 読取口のフィルタは汚れていませんか? ----(P.1-4) 読取口のフィルタが汚れていると正しくバーコードを読取らないことがあります。乾いた 柔らかい布でフィルタを拭いてください。

#### Q:ドライブの空き容量を確認するには

システムメニューの「2:ファイル」>「7:ドライブ」で確認します。----(P.4-23)

### Q:データ通信ができない

各機器は正しく接続されていますか? 各機器の接続には、必ず専用のケーブルを使用してください。----(P.4-8) ・PCとHLT-700-02を接続 PC 接続用ケーブル (HOP-C031)を使用 ・PC と光通信ユニット (HIF-51) を接続 HIF-51 PC 接続用ケーブル(WRS-AXC003A)を使用 ・光诵信ユニット(HIF-51)をデイジーチェーン接続 デイジーチェーン接続用ケーブル (STP-C001A)を使用 正しい環境で使用していますか?----(P.1-4) 通信設定は正しく設定されていますか?----(P.4-12) 光通信ユニット(HIF-51)とホストコンピュータは正しく接続されていますか?---- (P.6-5) デイジーチェーン接続時に、光通信ユニット(HIF-51)のDIPスイッチは正しく設定 されていますか?----(P.6-7) HLT-700-02 や光通信ユニット(HIF-51)の IrDA インターフェースは汚れていません か?----(P.1-2) IrDA インターフェースが汚れていると正しく IrDA 通信が行われないことがあります。乾 いた柔らかい布でインターフェースを拭いてください。

#### Q:ファイルの送受信中に「キャンセルされました」と表示さ れた

ファイル送受信が完了する前に ⓒ キーが押されたときなどに表示されます。----(P.4-14、4-15) 再度送受信を行ってください。

#### Q:ファイルの送受信中に「書き込みに失敗しました」と表示 された

ドライブSの空き領域が少ない場合などに表示されます。----(P.3-3・P.4-17) ドライブFにファイルを受信するときは、HLT-700-02は、ドライブS上に受信するファイ ルと同じだけの作業領域を必要とします。ドライブSのファイルを削除して空き容量を増 やしてからやり直してください。

# Q:ファイルの送受信中に「タイムアウトしました」と表示された

送信または受信待ち状態などのままで一定時間が経過すると表示されます。 ホストコンピュータの通信ソフトは起動していますか?----(P.4-10) 通信設定は正しく設定されていますか?----(P.4-8) 光通信ユニット(HIF-51)とホストコンピュータは正しく接続されていますか?-----(P.4-8、6-5) HLT-700-02とホストコンピュータは正しく接続されていますか?----(P.4-8) HLT-700-02や光通信ユニット(HIF-51)のIrDAインターフェースは汚れていません か?----(P.1-2) IrDAインターフェースが汚れていると正しくIrDA 通信が行われないことがあります。乾 いた柔らかい布でインターフェースを拭いてください。

ホストコンピュータのリソースが不足していませんか? 通信ソフト以外のアプリケーションなどが起動している場合、コンピュータのリソースが 不足することで、ファイルの送受信が上手く行われないことがあります。通信に必要ない アプリケーションは、できるだけ終了してから再度通信を行ってください。

#### Q:アプリケーションの起動やファイルの送受信ができない

バッテリーカートリッジの電圧が弱いときは、一部の機能が操作できなくなります。 バッテリーカートリッジは充電されていますか?----(P.4-30、2-9)

#### Q:ファイルが壊れているようなのですが

ファイルを削除するか、ホストコンピュータ等に転送してデータを復旧するなどの措置をとってください。----(P.4-17、4-26)

#### Q:「アプリケーションエラー」と表示され、キーを押したら電 源が OFF になった

アプリケーションが不正な処理を行った場合に表示します。このメッセージが表示された場合、何かキーを押すとアプリケーションは強制終了されます。電源が切れる場 合もあります。メッセージの形式はエラーの種類やシステムプログラムのバージョン によって異なります。

システム管理者に相談してください。

#### Q:「システムエラー」と表示され、キーを押したら電源が OFF になった

システムプログラムがエラーの原因を特定できなかった場合に表示します。ハード ウェア、システムプログラム、アプリケーション等の障害、強度の静電気のような外 部要因、ユーザの操作ミスなどの原因が考えられます。システムエラーメッセージが 表示された場合、何かキーを押すと電源が切れます。次の起動時に可能な限り自己復 旧します。

再度電源を投入してください。----(P.4-4)



# <u> 光通信ユニット(HIF-51)</u>編

本章では、光通信ユニット(HIF-51)について説明します。 光通信ユニット(HIF-51)をご利用になる場合は、光通信ユニット (HIF-51)付属のマニュアルとあわせて、本章をお読みください。

# 6-1 はじめに

光通信ユニット(HIF-51)は、「Welfer for Windows」を使用した、ファイル転送 専用の光通信ユニットです。

HLT-700-02の IrDA 通信機能を使用して「Welfer for Windows」がインストールされたホストコンピュータとデータ通信を行うことができます。

デイジーチェーン接続用ケーブル(STP-C001A)を使用することで、ホストコンピュー タから、1 つのファイルを複数の端末に一度に送信(同報送信)することが可能です。 また、デイジーチェーン接続されている複数の光通信ユニットでは、どのユニットか らもホストコンピュータへデータを送信することが可能です。

デイジーチェーン接続とは

デイジーチェーン接続とは、周辺機器を次から次へと鎖状につなげていく接続方法の ことを指します。光通信ユニット(HIF-51)では、最大 16 台(接続全長 1200m)ま でデイジーチェーン接続が可能です。詳しくは、「6-3 デイジーチェーン接続」(P.6-6) をご覧ください。

#### 6-1-1 各部の名称



#### 電源 LED

電源が ON になると、緑色に点灯します。通信中、または通信待機中に赤く点灯します。



電源 LED が緑色の状態で、ファイルの送受信を開始してください(「電源 LED について」(P. 6-4)参照)。

#### 通信 LED

HLT-700-02 からデータ送信中は、橙色に点灯します。 HLT-700-02 がデータ受信中は、緑色に点灯します。 赤外線通信(IrDA)インターフェース HLT-700-02 と赤外線通信(IrDA)を行います。 (IrDA SIR 1.2 Low Power Option 規格準拠)



赤外線通信(IrDA)インターフェースが汚れていたり、異物がついている と誤作動の原因になります。

#### 電源スイッチ

AC 電源コネクタ

RS-232C コネクタ

ホストコンピュータと HIF-51 PC 接続用ケーブル(WRS-AXC003A:別売り)で接続 します。

RS-485 コネクタ×2

他の光通信ユニット(HIF-51)とデイジーチェーン接続用ケーブル(STP-C001A:別 売り)でデイジーチェーン接続します。デイジーチェーン接続はどちらのコネクタ を使用しても構いません。 DIP スイッチ

光通信ユニット(HIF-51)の設定を行います。 (出荷時設定=1~6のスイッチは全て OFF)



光通信ユニット(HIF-51)底面にある DIP スイッチの2番から6番は、出 荷時に設定されている値(OFF)から変更しないでください。むやみに変更 すると、誤作動および故障原因となります。複数台をデイジーチェーン接 続する場合は、P.6-6をご覧ください。

電源 LED について

通信中に光通信ユニット(HIF-51)から HLT-700-02 を取り外すと、しばらくの間電 源 LED が赤く点灯したままになることがあります。この時点では、まだ光通信ユニット(HIF-51)とホストコンピュータとの間で通信処理が行なわれています。通信処理 が完了して電源 LED が緑色になってから、次のファイルの送受信を開始してください。 電源 LED が赤く点灯している状態では、次のファイルの送受信を正しく行なうことは できません。

## 6-2 接続

# 6-2-1 ホストコンピュータとの接続



ホストコンピュータとの接続の際は、HIF-51 PC 接続用ケーブル(WRS-AXC003A)をご用意ください。



ホストコンピュータに HIF-51 PC 接続用ケーブル (WRS-AXCOO3A)で接続します。 AC アダプタを接続します。 光通信ユニット背面の電源スイッチを ON にします。



HLT-700-02のデータ送受信の準備が整ったら、光通信ユニット(HIF-51)に置きデー タの送受信を行います。(P.4-8)



# 6-3 デイジーチェーン接続

光通信ユニット(HIF-51)では他の光通信ユニット(HIF-51)と、デイジーチェーン 接続用ケーブル(STP-C001A)で最大 16 台までデイジーチェーン接続することが可能 です。

デイジーチェーン接続では、ホストコンピュータから、1つのファイルを複数の端末 に一度に送信(同報送信)することが可能です。また、デイジーチェーン接続されて いる複数の光通信ユニットでは、どのユニットからもホストコンピュータへデータを 送信することが可能です。





光通信ユニットでデータ通信中は、他の光通信ユニットで電源スイッチの 操作(電源の 0N/0FF)をしないでください。 データ通信が上手くいかなくなる場合があります。

DIP スイッチの設定

デイジーチェーン接続をする場合、光通信ユニット (HIF-51)底面にある「DIP スイッチ」の設定が必 要です。

接続の両端にある光通信ユニットの「DIP スイッチ」 の1番を ON にします。2~6番は変更しないでくだ さい。



「DIP スイッチ」の設定詳細は、「6-3-1 構成例(DIP スイッチの設定)」(P.6-7) をご覧ください。

通信時のポイント

デイジーチェーン接続されている他の光通信ユニットがホストコンピュータと通信 中のときに、別の光通信ユニットを使用して通信開始すると、HLT-700-02 に「回線 が使用中です」と表示され、HLT-700-02 と光通信ユニットは通信待機状態になりま す。回線が使用可能になると、通信を開始します。通信待機状態をキャンセルするに は、ⓒ キーを押します。

#### 6-3-1 構成例 (DIP スイッチの設定)

光通信ユニット(HIF-51)が1台



HIF-51 1台の接続時は、1番は ONでもOFFでも問題ありません。

光通信ユニット(HIF-51)が2台



#### 光通信ユニット(HIF-51)が3台以上



#### DIP スイッチ仕様

項目	説明
1	ON:終端抵抗あり、OFF:終端抵抗無し
2	
3	
4	変更禁止
5	
6	



光通信ユニット(HIF-51)底面にある DIP スイッチは、むやみに変更する と、誤作動および故障原因となります。

# 6-4 インターフェース

# 6-4-1 RS-232C インターフェース



端子の信号レベルは、JISX5101 相当、ピン配列は DTE 仕様

ピン番号	端子名	方向	説明		
1	NC	-	使用禁止		
2	RxD	入力	受信データ		
3	TxD	出力	送信データ		
4	DTR	出力	データ端末レディ		
5	GND	-	シグナルグランド		
6	DSR	入力	データセットレディ		
7	RTS	出力	送信要求		
8	CTS	入力	送信可		
9	NC	-	使用禁止		

光通信ユニット(HIF-51)PC 接続用ケーブル(WRS-AXC003A)結線図



# 6-4-2 RS-485 インターフェース



ピン番号	説明
1	使用禁止
2	使用禁止
3	使用禁止
4	信号線(+)
5	信号線(-)
6	HIF-51 接続検出線
7	HIF-51 接続検出線
8	GND



デイジーチェーン接続を行う際は、必ずデイジーチェーン接続用ケーブル (STP-C001A)をご使用ください。市販されているイーサネット用ケーブル 使用すると、故障の原因となります。

# 6-4-3 インターフェース仕様

	通信方式		全2重方式	
	同期方式		調歩同期方式	
	通信条件	ボーレート	2400 ~ 115200bps	
		データビット長	7ビット/8ビット	
		パリティ	偶数、奇数、なし	
RS-232C		ストップビット長	1ビット/2ビット	
		フロー制御	RTS/CTS 制御	
	コネクタ		HDEB-9S ヒロセ電機製	
			D-sub9S	
	かん合固定台		RDG-LNA-W1 ヒロセ電機製	
	雌ネジ		M2.6	

RS-485 マルチドロップ	通信方式		半2重方式	
	同期方式		調歩同期方式	
	通信条件	ボーレート	2400 ~ 115200bps	
		データビット長	7ビット/8ビット	
		パリティ	偶数、奇数、なし	
		ストップビット長	1ビット/2ビット	
	コマクタ		HEC0470-01-230 ホシデン製	
	1479		RJ-45	

	IrDA 規格		IrDA SIR 1.2 Low Power Option 規格準拠		
	通信方式		半2重方式		
赤外線通信部 (IrDA)	伝送速度		2400 ~ 115200bps		
	同期方式		調歩同期方式		
	通信条件	ボーレート	2400 ~ 115200bps		
		データビット長	7ビット/8ビット		
		パリティ	偶数、奇数、なし		
		ストップビット長	1ビット/2ビット		



通信条件は、HLT-700-02の設定に従います。



# サンプルバーコード

JAN13





JAN8





UPC-E





録

CODE39(C/D あり)





CODE39(C/Dなし)





付録

NW-7(C/D あり)





NW-7(C/Dなし)





NW-7 (HEX)





ITF (C/D あり)





ITF(C/Dなし)





ITF (標準バージョン ITF-14)





ITF (拡張バージョン ITF-16)





ITF(アドオンバージョン ITF-6)





CODE128 (コードセットA)









CODE128(コードセットC)





EAN128(コードセットA)



EAN128(コードセットB)



EAN128(コードセットC)





索引

С	
CODE128(サンプルバーコード) 付録-7 CODE39(サンプルバーコード) 付録-3	拡張子 拡張文字 画面の表
	画面表示
שרי איז שרי איז די	
E	キャンセル
EAN128 付録-8	
Н	コントラン
HIF-51 1-4, 6-1, 6-2	
I	システム
IrDA インターフェース1-3 ITF(サンプルバーコード)付録-5,付録-6	システム: 自動実行 シフトキ・
J	初期化
JAN13(サンプルバーコード) 付録-2 JAN8(サンプルバーコード) 付録-2	シリアルi シリアルi
Ν	
NW-7(サンプルバーコード) 付録-4	スキュー
0	
OS バージョン4-24	
R	王用文于
RS-232C	
U	◎ 溶 ト 強/ ダウンロ・
UPC-E(サンプルバーコード) 付録-2	端末 ID .
W	
Welfer for Windows 1-5, 4-10	通信設定 通信速度
Б	通信ポー
アップロード 4-11	
アプリケーション4-7	デイジー
<i>.</i>	低電圧警行
オートパワーオフ	テータ長 データ通(
首重 4-21	データビ <sup>、</sup> デッドゾ・

か
広張子3-3 広張文字2-15 画面の表示4-5 画面表示4-28
き
キャンセル1-3
Ę
コントラスト4-18
し し
ンステムプログラム
す
スキュー2-7 ストップビット4-10, 4-13
번 번
全角文字2-15
た
対落下強度2-3 ダウンロード4-15 湍末 ID4-12
2
通信設定4-10, 4-12 通信速度4-10 通信ポート4-10
τ
デイジーチェーン6-6 低電圧警告4-30 データ長4-13 データ通信1-4 データビット4-10 デッドゾーン2-7

テンキー1-3
電池電上
Ł
時計 4-20, 4-25
ドライブF3-3
トフイノ 5
14
ハイ ノレータ
バッテリーカートリッジ 1-3, 2-9
バッテリーカバー
パリティ
半角文字 2-16
U U
光通信ユニット6-1, 6-2
ピッチ
<u>標準アプリケーション 3-2, 3-4</u>
ふ
ファイル情報 4-22
ファイルの再配置
ファイルの削除
ファイルの受信
ファイルのテスト
ファイル名3-3
ファンクションキー1-3
フロー制御 4-10
la
ポート
$\pi - \nu - \nu$ 4-13
ホストコノビュータ
м М
<u>~~</u>

読取口1-2 読取深度2-5
3
 ローバッテリー 4-30
ロール
ロックレバー

FAX によるご質問または修理のご依頼の際は、下記用紙をコピーして各項目にご記入の上ご利用ください。

FAX お問い合わせ票 / 修理依頼票 (どちらでご使用か に記してください)

御社名		部署			
御氏名		TEL		(	)
E-Mail		FAX		(	)
御住所	Ŧ				
お買い上げに	店名				
【製品名】	ハンディレーザーリーダー	【型	番】	HLT-700-0	)2
[SER No]		(本体に貼付の銘板に記載されています)			

情報提供にご協力ください

アフ゜リケーションフ゜ロク゛ラム	標準 AP(Ver . ) ウェルキャット製特注 AP(Ver . ) お客様にて開発された AP
Welpack-H	使用している(Ver .) 使用していない
ご使用の台数	・HLT-700-02 台 ・光通信ユニット(HIF-51) 台
ご使用の業務 / 場所 / 環境	(例)高温多湿の工場で****製造ラインの管理 等

質問内容・不具合症状の記入欄(できるだけ詳しくご記入ください)

修理の際は本紙にご記入のうえ修理品と一緒にお買い上げ店にお渡しください。

保証書のお買い上げ日から1ヶ年(ただし、最長で出荷日より1年3ヶ月)以内の場合、保証書のご提示により無償保証と させて頂きます。ただし、無償保証期間内であっても有償となる場合もございますので、詳しくは保証書をご覧ください。 弊社製品の保守期間は、販売終了後5年間です。ご使用中の製品の販売終了に関する情報は、弊社ホームページ (http://www.welcat.co.jp/)にてご確認ください。
このマニュアルの著作権は株式会社ウェルキャットにあります。

このマニュアルの一部または全部を無断で使用、複製、転載することをお断りします。

ハンディレーザーリーダー HLT-700-02 ハードウェア/システムメニュー ユーザーズマニュアル

 2004年6月
 第7版
 発行

 株式会社ウェルキャット

 本社
 〒222-0033
 横浜市港北区新横浜 1-17-12
 IWATA ビル

 TEL:045-474-9800
 FAX:045-474-9815

 大阪営業所
 〒532-0011
 大阪市淀川区西中島 5-7-19
 第7新大阪ビル

 TEL:06-6307-0502
 FAX:06-6307-0504

Homepage http://www.welcat.co.jp/) E-mail info@welcat.co.jp

Copyright©2001 Welcat Inc.

落丁、乱丁はお取り替えいたします。

M07HLT702sys

